

認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう

平成29年度 定期総会

議案書

日 時 平成29年5月29日(月) 午後2時から午後3時
場 所 越谷市市民活動支援センター 活動室B

- 出席会員数の確認
- 議長の選任、議事録署名人2名の選任

- 第1号議案 平成28年度活動報告の件
- 第2号議案 平成28年度事業会計収支計算書、監査報告の件
- 第3号議案 平成29年度事業計画の件(案)
- 第4号議案 平成29年度事業会計予算の件(案)
- 第5号議案 役員の選任に関する件(案)
- 第6号議案 その他議題

認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう
〒343-0813
埼玉県越谷市越ヶ谷3-5-20
TEL/FAX 048-962-3963
E-mail tomorou@hot-koshigaya.jp

平成28年度を振り返って-実りと課題

1 男女共同参画支援センター受託事業について

認定特定非営利活動法人男女共同参画こしがやともろう（こしがやともろう）は平成21年に男女共同参画支援センター（ほっと越谷）が指定管理者制度の導入を決定したことにより、越谷市の男女共同参画を推進するという思いで運営を引き継ぎたいと、指定管理者を申請し事業を受託しました。

以来、第1期3年、第2期5年の8年間、こしがやともろうのミッションを掲げ、実現に向けて事業の企画、管理運営について工夫を重ね実施してまいりました。

事業の企画では常に社会情勢の中で見えてくる課題解決に向けた視点から、地域、団体、個人のつながりをもって事業に反映すること、管理運営では皆様に心地よく施設を利用していただくことを心がけています。その実績は毎年の『越谷市の指定管理者導入施設における指定管理者の評価』において、越谷市の指定管理者のトップに評価されております。

これまで積み上げてきた実績、こしがやともろうのミッションをより進めたいとの思いから、平成29年度より平成33年度までの5年間、第3期の指定管理者としての申請書を提出、厳正な審査を経て事業を受託しました。

第3期に向けてより充実した管理運営を進めるため運営体制を見直し新たなスタート台に立ちました。

2 今後の課題

ほっと越谷は、初代 中村敏子所長、2代目 荒井ひとみ所長を中心に運営、職員も経験を重ね、又、こしがやともろうとほっと越谷の職員の連携が良くいくように理事と職員の合同会議等を開催し、事業を進めていたこともあり、充実した体制になってきたように思います。

今後は、「認定特定非営利活動法人男女共同参画こしがやともろう」の自主事業を充実させ指定管理者としての基盤を強くしていきたいと思っております。そのためには会員の皆様のお力添えが必要です。

平成28年度は自主事業として七夕フェスタにおける熊本地震被災者への募金活動、越谷しらこぼと基金を活用しての【忘れない・伝えたい「記憶を紡ぐ三つの手」～東日本大震災から学ぶ～】を開催。大きな成果を記しました。

なお、第3期目指定管理者として、ほっと越谷を活用した事業に取り組むことも課題としてあり、「対話」の研修を行い、次年度のサポート事業につなげています。

平成29年度は自立支援事業【生きづらさを抱えた女性のサポート事業】を開催予定。

今回、対象は女性となっておりますが、この事業はいろいろな形の生きづらさを抱えた方たちの支援にもつなげることができればと考えています。是非、皆様に参加していただき、会員の皆様と共に今後の活動に活かしていきたいと思っておりますのでよろしくご願ひ申し上げます。

平成29年5月29日

認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう 代表理事 駒崎美佐子

平成28年度活動報告

1 平成28年度活動報告

(1) 男女共同参画関係施設受託事業

越谷市の男女共同参画基本計画第三期実施計画の初めの年度として、職場、地域、家庭などあらゆる場面で男女共同参画に関する課題について市民が身近な問題ととらえ、気づきと学び、そして実践につなげていく支援をめざし、事業に取り組んだ。

学習事業では、様々な世代が参加できる事業として、高校生から高齢者まで世代による課題を絞り、講座を企画した。登録団体を対象とした「大人の学校」を登録団体と市内の市民団体を対象とした「市民公募型男女共同参画事業」に変え、団体と共にバラエティに富んだ男女共同参画講座を実施した。このような中で、高齢者対象講座終了後の自主グループが、2年間の活動を経て平成29年度の登録団体になったことは喜ばしい出来事であった。さらに、出前講座として地区センターとの共催事業を実施し、地域の住民にアピールすることにより、ほっと越谷の事業への参加につなぐことができた。加えて、以前より開催回数を増やしてほしいと要望があった「育児休業取得中の女性のための職場復帰準備講座」は、年2回開催することができ、パートナーの参加も多く好評であった。

情報事業については、イベント情報誌「きてみてほっと」を年4回発行し、細やかな情報発信につとめた。パネル展示については、十文字学園女子大学デートDV防止ポスター展示、雑誌anan防災パネル展示など視覚的に伝える情報提供を行った。

このように、28年度においても、新規事業を実施し、市民ニーズを踏まえながら充実した取り組みを行った。

(2) 男女共同参画の推進を担う人材養成事業

- ・平成21年度から続けている地区センター(7ヶ所)及びNPO団体に講師を派遣した。

(3) 情報提供、調査研究事業

- ・会報誌の発行、研修への参加を行った。
- ・忘れない・伝えたい「記憶を紡ぐ三つの手」～東日本大震災から学ぶ～
東日本大震災を忘れないで伝えていくために、越谷しらこぼと基金助成金を活用して、みつつの手(方法)①撮る手②針を持つ手③記録を書く・読む-から考える講座を開催した。

(4) 自立支援・相談事業

- ・生きづらさを抱えた女性のサポート事業
平成29年度事業に向け、対話の研修を受講した。
- ・七夕フェスタにおいて、2016年4月の熊本大地震の被災地支援への募金活動を行った。

2 事業の実施に関する事項（平成28年 4月 1日 ～ 平成 29年 3月 31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
男女共同参画関係施設受託事業	越谷市男女共同参画支援センター受託事業	通期	越谷市男女共同参画支援センター	8人	市民 20000人	28,797
	自主事業七夕フェスタオープニングイベント	6月	ほっと越谷 さくら広場	6人	市民 3600人	8
男女共同参画の推進を担う人材養成事業	男女共同参画に関する講座（講師派遣）	7月 8月 9月 9月 2月 2月 2月	大沢地区センター 北越谷地区センター 障害者の職場参加をすすめる会 川柳地区センター 大沢地区センター 南越谷公民館 北越谷地区センター	1人 1人 2人 2人 1人 1人 1人	市民 33人 市民 38人 市民 20人 市民 24人 市民 80人 市民 80人 市民 100人	108
情報提供、調査研究事業	会報誌の発行	4・10月	事務所	3人	市民	6
	埼玉県立大学実習	5・6月	ほっと越谷	3人	県立大学生 64人	12
	センター職員と理事の合同会議	4・7・1月	ほっと越谷	42人	職員 理事	0
	女性関連施設・地方公共団体のための男女共同参画推進研修	8月	独立行政法人 国立女性教育会館	1人	理事	0
	女性に対する暴力の予防啓発研修	11月	東京ウィメンズプラザ	1人	理事	0
	越谷しらこぼと基金 忘れない・伝えたい「記憶を紡ぐ三つの手」～東日本大震災から学ぶ～	7・1・2月	ほっと越谷	4人	市民 理事 51人	120
	男女共同参画と災害・復興ネットワーク	5月	東京都港区男女共同参画センター	1人	理事	2
自立支援・相談事業	生きづらさを抱えた女性のサポート事業	2月	市民活動支援センター	7人	理事	15
	熊本大震災被災地支援への募金事業	6月	さくら広場	6人	市民	0

第2号議案

平成28年度特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日

認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう

単位：円

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費 (20 口)	200,000		
賛助会員会費 (24 口)	48,000	248,000	
2 事業収入			
(1) 男女共同参画関係施設受託事業	28,797,589		
・七夕フェスタ参加	9,874		
(2) 男女共同参画の推進を担う人材養成事業	140,000		
(3) 情報提供、調査研究事業	64,000		
(4) 自立支援・相談事業	0		
(5) 子どものための自立支援事業	0	29,011,463	
3 補助金・助成金等収入	96,000	96,000	
4 寄付金収入	109,169	109,169	
5 借入金収入			
短期借入金	0	0	
6 受取利息	1,373	1,373	
7 その他の事業収入	0	0	
8 雑収入	0	0	
当期収入合計 (A)			29,466,005
前期繰越収支差額			285,803
収入合計 (B)			29,751,808
II 支出の部			
1 事業費			
(1) 男女共同参画関係施設受託事業	28,797,589		
・七夕フェスタ参加	8,779		
(2) 男女共同参画の推進を担う人材養成事業	108,000		
(3) 情報提供、調査研究事業	140,577		
(4) 自立支援・相談事業	15,000		
(5) 子どものための自立支援事業	0	29,069,945	
2 管理費			
消耗品費(事務用品など)	24,194		
通信運搬費(電話、郵送)	71,438		
会議費(会場使用料)	14,176		
印刷費	7,465		
印紙代	4,350		
旅費交通費	5,640		
人件費(事務担当)	149,675		
賃料(事務所)	12,000		
手数料	2,728		
寄附(熊本大震災)	2,000		
消費税	11,100		304,766
当期支出合計 (C)			29,374,711
当期収支差額 (A) - (C)			91,294
次期繰越収支差額 (B) - (C)			377,097

第2号議案

平成28年度 特定非営利活動に係る事業 会計 貸借対照表

平成29年3月31日現在

認定特定非営利活動法人男女共同参画こしがやともろう

単位：円

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	377,097		
流動資産合計		377,097	
2 固定資産			
器具・備品 (パソコン、事務機器)	0		
固定資産合計		0	
資産合計			377,097
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
預かり金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		285,803	
当期正味財産増加額(減少額)		91,294	
正味財産合計			377,097

第2号議案

平成28年度 特定非営利活動に係る事業 会計 財産目録

平成29年3月31日現在

認定特定非営利活動法人男女共同参画こしがやともろう

単位：円

科 目	数量	金額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金 現金手許預かり高		10,766		
ゆうちょ銀行振替口座(越谷袋山郵便局)		0		
普通預金 ゆうちょ銀行		366,331		
流動資産合計			377,097	
2 固定資産				
器具・備品 (パソコン、事務器具)		0		
固定資産合計				
資産合計			0	
				377,097
II 負債の部				
1 流動負債				
短期借入金		0		
預り金		0		
流動負債合計			0	
2 固定負債				
長期借入金		0		
固定負債合計			0	
負債合計				0
正味財産				377,097

監査報告書

平成29年5月12日

認定特定非営利活動法人
男女共同参画こしがやともろう
代表理事 駒崎 美佐子 様

監事 高橋美佐子 ㊟

平成29年5月12日に認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろうの平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の活動にかかわる監査を行いましたので、以下のように報告します。

監査の方法と概要

収入・支出について帳簿及び書類の閲覧など必要と思われる監査手続きにより、計算書類の正当性などについて監査しました。

監査結果

会計監査の結果、別紙の収支計算書（報告書）に相違ありません。

平成29年度事業計画書（案）

定款に記述した法人の目的である「越谷市における男女共同参画推進条例を尊重し、男女共同参画の実現と女性の自立支援を目的とした活動を行い、すべての人々が平等で平和な生活を送ることのできる人間尊重を基本とした社会の形成に貢献する」をさらに進めていくこととする。

(1) 男女共同参画関係施設受託事業

・越谷市男女共同参画支援センターの施設受託事業

市の男女共同参画推進の拠点施設として、平成28～平成30年度「第3次越谷市男女共同参画計画第三期実施計画」を踏まえた事業を実施するとともに、社会状況の変化に応じた、新しい事業に取り組んでいくこととする。

支援センター運営における認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろうのミッションは、職場、家庭、地域などあらゆる場面で、男女共同参画に関する課題が市民の身近な問題として考えられるような意識改革と課題解決につながる支援をめざしている。

この目的の達成に向け、平成29年度も職員の専門性を高めるため、内部研修はもとより外部研修に積極的に参加して、情報収集とネットワークの構築に努めることとする。

また、越谷市の男女共同参画を推進するために、人権・男女共同参画推進課をはじめ、市の関係課（産業支援課、危機管理課、市民健康課）等との連携、他団体（地区センター、越谷商工会議所、越谷法人会）等との連携を深め、事業を実施する。連携することにより、支援センターへの理解を深めることにつなげる。

平成29年度は、昨年につき連続講座による学びと参加者同士の交流を深める場を提供していく。なお、実施場所については、地区センターと連携を図り、様々な地域に出向いて男女共同参画への理解を深める場を広げていくこととする。新しい取り組みとして、「震災文庫」を設置し、ジェンダー視点をもった「記録の見える化」を行う。

・七夕フェスタオープニングイベント参加

(2) 男女共同参画の推進を担う人材養成事業

平成21年度から続けている地区センターへの講師派遣を積極的に行う。

(3) 情報提供、調査研究事業

- ・会報誌の発行、研修への参加を行う。
- ・埼玉県立大学実習生を受け入れる。
- ・ともろうホームページ（HP）を開設し積極的に情報を発信する。
- ・学びの場としての「ともろうカフェ」を開催する。

(4) 自立支援・相談事業

生きづらさを抱えた女性のサポート事業を実施する。

生きづらさを抱えた女性への支援を多面的に展開し、よりよい支援環境をつくる。

2 事業の実施に関する事項（平成29年4月1日～平成30年3月31日）（案）

定款の事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定人 数	受益対象者 の範囲及び 予定人数		支出見込 み額 (千円)
男女共同参画関係施設受託事業	越谷市男女共同参画支援センター受託事業	通期	ほっと越谷	8人	市民 団体	20,000 人	28,700
	七夕フェスタオープニングイベント	7月	さくら広場 ほっと越谷	10人	市民	3,000 人	20
男女共同参画推進を担う人材養成事業	男女共同参画に関する講師派遣事業	通期	地区センター など	6人	市民	100人	80
情報提供、調査研究事業	会報誌の発行	年3回	事務所	2人	会員 市民	300人	10
	埼玉県立大学実習生受入れ	5・6月	ほっと越谷	2人	県立 大学 学生	67人	11
	女性関連施設・地方公共団体のための男女共同参画研修	5月	(独法) 国立女性教育会館	1人	理事	—	0
	男女共同参画推進フォーラム	8月	(独法) 国立女性教育会館	2人	理事	—	10
	(特非) 全国女性会館協議会第57回全国大会	12月		1人	理事	—	10
	ともろうホームページの開設	6月～	ほっと越谷	3人	市民		404
	ともろうカフェ	年1回	ほっと越谷	2人	市民		10
自立支援・相談事業	生きづらさを抱えた女性のサポート事業	7～8月 3回	ほっと越谷	4人	市民 理事	60人	180

平成29年度特定非営利活動に係る事業会計 収支予算書(案)

平成29年4月1日から平成30年3月31日

認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう

単位：円

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費(25名分)	250,000		
賛助会員会費(30名分)	60,000	310,000	
2 事業収入			
(1)男女共同参画関係施設受託事業	28,700,000		
・七夕フェスタ参加	10,000		
(2)男女共同参画の推進を担う人材養成事業	100,000		
(3)情報提供、調査研究事業	67,000		
(4)自立支援・相談事業	0		
(5)子どものための自立支援事業	0	28,877,000	
3 補助金・助成金等収入	0	0	
4 寄付金収入	400,000	400,000	
5 借入金収入			
短期借入金	0	0	
6 受取利息	2,000	2,000	
7 預かり金	0	0	
8 その他の事業収入	0	0	
9 雑収入	0	0	
当期収入合計(A)			29,589,000
前期繰越収支差額			377,097
収入合計(B)			29,966,097
II 支出の部			
1 事業費			
(1)男女共同参画関係施設受託事業	28,700,000		
・七夕フェスタ参加	20,000		
(2)男女共同参画の推進を担う人材養成事業	80,000		
(3)情報提供、調査研究事業	455,000		
(4)自立支援・相談事業	180,000		
(5)子どものための自立支援事業	0	29,435,000	
2 管理費			
消耗品費(事務用品など)	10,000		
通信運搬費(電話、郵送)	80,000		
会議費(会場使用料、他)	5,000		
食糧費	10,000		
旅費交通費	20,000		
講師等謝礼	5,000		
人件費(事務担当)	202,000		
賃料(事務所)	120,000		
手数料	1,000		
消費税	10,000	463,000	29,898,000
3 予備費			68,097
当期支出合計(C)			29,966,097
次期繰越収支差額(B) - (C)			0

第5号議案

役員を選任に関する件（案）

理 事

兼宗 美幸

第6号議案

その他議題